

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	必修
担当教員			
池上 益世			
月2、3			
添付ファイル			

科目の概要	わが国や諸外国の健康・栄養に関する現状と課題を知り、それに対応した栄養施策、公衆栄養活動について理解を深めるよう解説する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション・公衆栄養の概念1 授業の進め方、成績評価について説明する。 公衆栄養の概念（公衆栄養の意義と目的～コミュニティと公衆栄養活動）、公衆栄養活動（公衆栄養活動の歴史）について解説する。 教科書p.1～6を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第2回 公衆栄養の概念2 公衆栄養活動（生態系保存のための公衆栄養活動～少子・高齢社会における健康増進）について解説する。 教科書p.6～15を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第3回 健康・栄養問題の現状と課題1 健康状態の変化（死因別死亡～生活習慣病の有病率）について解説する。 教科書p.17～21を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第4回 健康・栄養問題の現状と課題2 食事の変化（エネルギー・栄養素摂取量～料理・食事パターン）、食生活の変化（食行動、食知識・食態度・食スキル）について解説する。 教科書p.21～32を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第5回 健康・栄養問題の現状と課題3 食環境の変化（食品生産・流通～食料自給率）について解説する。 教科書p.32～39を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第6回 健康・栄養問題の現状と課題4 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題（先進諸国～地域間格差）について解説する。 教科書p.40～47を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第7回 栄養政策1 わが国の公衆栄養活動（健康づくり施策と公衆栄養活動の役割～公衆栄養活動と組織・人材育成）、公衆栄養関連法規（地域保健法～その他の法律）について解説する。 教科書p.49～60を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第8回 栄養政策2 わが国の管理栄養士・栄養士制度（栄養士法～管理栄養士・栄養士制度）について解説する。 教科書p.60～65を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第9回 栄養政策3 国民健康・栄養調査（調査の目的・沿革～調査の内容・方法）について解説する。 教科書p.65～70を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第10回 ミニテスト 第1回から第9回の内容についてミニテストを行う。</p> <p>第11回 栄養政策4 実施に関連する指針、ツール（食生活指針～運動指針）について解説する。 教科書p.70～75を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第12回 栄養政策5 国の健康増進基本方針と地公計画（国の基本方針策定の目的・内容～基本方針の推進と地方健康増進計画）について解説する。 教科書p.76～82を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第13回 栄養政策6 国の健康増進基本方針と地公計画（食育推進基本計画策定の目的・内容～食育の推進と地方食育推進計画）について解説する。 教科書p.82～90を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第14回 栄養政策7 諸外国の健康・栄養政策（公衆栄養活動に関係する国際的な栄養行政組織～栄養士養成制度）について解説する。 教科書p.90～98を読み、不明な箇所について調べておくこと。</p> <p>第15回 まとめ まとめと総復習を行う。 教科書、配布物を持ってくること。 定期試験</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆栄養学の意義・役割について理解する ・わが国における疾病構造、栄養課題、社会状況の変化に伴う健康・栄養対策の変遷を理解する ・国民の健康・栄養・食ならびに食料需給の状況を継続的に把握する意義やその方法を理解する

	・世界における健康・栄養課題を理解し、これに関わる機関の役割を理解する
授業の方法	主に講義形式で行う。 授業の終わりに復習小テストを行い、理解度を確認する。
成績評価の方法	1 平常点 (出席状況・授業態度・提出物・復習小テスト) 20% 2 ミニテスト (10回目に実施予定) 10% 3 定期テスト 70%
教科書・テキスト	「公衆栄養学」第一出版 井上浩一ほか 必要に応じて資料を配布する
参考書	国民衛生の動向 厚生労働統計協会 国民健康・栄養の現状 第一出版 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所監修 管理栄養士・栄養士必携 第一出版 公益社団法人 日本栄養士会編集
授業時間外の学修について (事前・事後学習について)	事前学習：教科書の該当箇所を精読する 事後学修：講義内容を復習する
履修上の留意事項	公衆栄養学Ⅰの単位が取得できない場合、公衆栄養臨地実習には参加できない。
オフィスアワー	水曜日3.4限
実務経験	行政栄養士
その他	欠席した場合は、次の講義までに池上の研究室で、資料を受け取り空欄に記入し提出する。